

壁を壊した図書館

～お茶大図書館活性化のヒ・ミ・ツ～

お茶大図書館が、「壁を壊して」作ったのは、ラーニング・commonsやカフェではありません。
 前例や体制の壁など様々な「壁を蹴飛ばして」、学生 ILL の無料化、学生協働の LiSA インターンシッププログラムなど、
 次々と新たなことにチャレンジしています。
 利用者の気持ちにいちばん敏感なのは、現場に立つスタッフです。
 全てのスタッフが利用者の気持ちに敏感になること。スタッフが元気で前向きであること。やってみたいと思ったことに
 すばやく、楽しく取り組めること。それが「壁を壊した」お茶大図書館活性化のいちばんのポイントです。
 今回のポスターでは、そんなスタッフたち、それぞれの「私の自慢」にご注目ください。

私の自慢は、
「パリの街角風サイン」です。

館内で迷子になる人をなくそう！どうせなら他にはない、超おしゃな看板がほしい！
 そんな脳内イメージのみでスタートしたこの企画。
 ついにみつけたこの画期的案内板、名づけて「パリの街角風サイン」！
 なんと、矢印が縦横ナメと自在に立体交差します。
 パリを意識したフォントと配色で、気分はすっかりパリジェンヌです♪



広瀬 絵里子

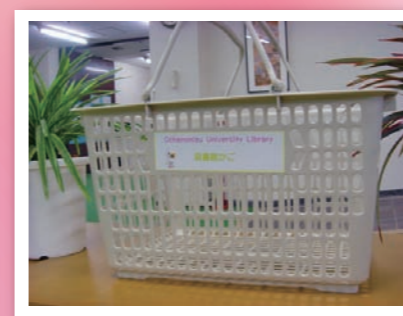
私の自慢は、
「引越し隊長を4回やったこと」です。

2007年2月からこの9月までの間に7度の大きな移動作業を経験し、うち4回引越し隊長をつとめました！
 この移動で動かした本の量を重さに換算すると、なんと象19頭分(約92t)。回数や量よりなによりも、使いやすい心地よい図書館を目指し、メンバーで改善案を出しあい、それらをすべて実現させたことが一番の自慢です。

鍋取 直子

私の自慢は、「図書館がこ」です。

文献コピーのため書庫の雑足を運ぶ学生さんが、少しでも楽になればとの思いから生まれた「図書館がこ」。
 こく普通の買い物かごが、おかげでかばんやリュックを貼るだけでかわいい「図書館がこ」に大変身！雑足を運ぶときや本を選ぶとき、床に置きたくない荷物を足元に置くときなどいろいろなシーンで活躍中です！



鍋取 直子

私の自慢は、
「素敵な館長と前館長」です。

いつも私たちスタッフを温かく励まし、勇気づけてくださる近藤館長と羽入前館長(現学長)。お二方の存在なくして、お茶大図書館の活性化はなかったと思います。
 副学長として大学経営に奔走される一方、図書館の活性化にも心を砕いてくださいます。常にユーモアも忘れないう素敵な館長のもとで働けて本当に幸せです。



廣田 未来

私の自慢は、
「クワイエット・スタディスペース」です。

おしゃべり・飲み物可であるラウンジやキャリアカフェとの使い分けが有効に機能しているため、ここでは皆さん黙々と勉学に励んでいます。
 図書館員としては、学生の方々の真摯な姿を見ることが嬉しい場所でもあります。

坂井 素子

私の自慢は、「企画展示」です。

昨春秋の特集企画(お茶大を卒業した作家たち)では、芥川賞作家・梶野さんを担当させていただきました。
 手作りの展示を幸いにもご本人に観ていただけたのは大変！
 大変楽しいお仕事でした。



長田 方子

私の自慢は、
「素晴らしい学内パートナーさんたち」です。

学生企画イベントのサポートなど、常にフットワーク軽く一緒にキャリアカフェを盛り上げてくれる「現代GP」。ハードとソフトの両面でラーニング・commons等を支える「ITセンター」。
 図書館の小さな変化に目を留め、励ましてくれる「各学科のアシスタントさん」・・・
 学内の頼もしいパートナーさんたちが私の自慢です！

廣田 未来

私の自慢は、「困難は分割せよ」です。

トラックに山積みなのはこれらから入力する博士論文の要旨。一瞬、泉然としましたが「困難は分割せよ」と、とりあえず一冊み。大学の所蔵を調べて所蔵を追加し、なければ書誌をダウンロード・・・
 入力が終わる度にまた一冊み。他の作業の合間にポチポチと入力し続け、ある時はちよちよと書庫に確認に行き、ついにトラック一台分、作業が完了しました。
 入力前には薄汚れた見え大団山の山が、今では堂の山のように光って見えます。



守屋 佐里恵

私の自慢は、
「見学案内・ガイダンスツアーの必需品！『ご案内中』の旗」です。

図書館のマスコットキャラクター「おかめちゃん」が、可愛く呼びかける図柄の効果は抜群で、2009年4月の新入生向けガイダンスツアー参加者数は、なんと前年度の2.8倍にアップしました！



浜崎 未緒

壁のない図書館

学生が、お気に入りの場所で、図書館を楽しんでくれているように、図書館のスタッフ自身も変化していく図書館を楽しんでいます。

Service Counter
お探しの本は、こちらですか？
探している文献がどうも見つからない。そんなときは、この移動で動かした本の量を重さに換算すると、なんと象19頭分(約92t)。回数や量よりなによりも、使いやすい心地よい図書館を目指し、メンバーで改善案を出しあい、それらをすべて実現させたことが一番の自慢です。

Career Report Adviser
私の「決め手」、書けるかな...
就職活動の不安な気持ち、みんなおなじ。『キャリアレポートアドバイザー』さんに出会ってからは、今まで知らなかった自分のことが、見えてくるかも。

Quiet Study Space
集中力をしっかりチャージ。
レポートや課題は、自分のペースでじっくり取り組みたい。そんな時は、2階の「クワイエット・スタディスペース」でしっかり集中！

Career Cafe
単なる「カフェ」、じゃない。
ドリンクやお茶に、読書や調べごとをもちろんです。新しい資格と一冊、大人のマナーも、あいくどうぞ。アイディアと実体験で、あふんしたプレゼンにも使えます。様々なイベントの企画は、ぜひ「G」が得意なスタッフ！

Career Cafe Books
そのページの先に、豊かな感性。
自分の未来を思い描きながら、夢や希望の空気に包まれて一冊ずつ読む「ことば」に挑む。こぼりのライナップ、LiSA(Library Student Assistant)さんぜひ読んでください！

Learning Commons
PCがいっぱい。それだけでは、ないんです。
レポート作成から読書のお店のチェックまで、今やPCは欠かせないアイテム。PC操作で取っても、「ラーニングアドバイザー」さんがいるから安心。ITを駆使して、さまざまな学生を支援します！

Lounge
ゆったりと明るい、「知的空間」。
落ち着いた雰囲気のリウンジで、上質なくつろぎを。新館・旧館での情報収集は、知的な大人の必須アイテム。

Coffee Server
ほっとなごめる、この一杯。
おいしいドリンクでリフレッシュ。ラウンジ、キャリアカフェでゆっくりしたひとときをお楽しみください。

Learning Commons
PCがいっぱい。それだけでは、ないんです。
レポート作成から読書のお店のチェックまで、今やPCは欠かせないアイテム。PC操作で取っても、「ラーニングアドバイザー」さんがいるから安心。ITを駆使して、さまざまな学生を支援します！

私の自慢は、
「日々の活動を文字にするブログ」です。

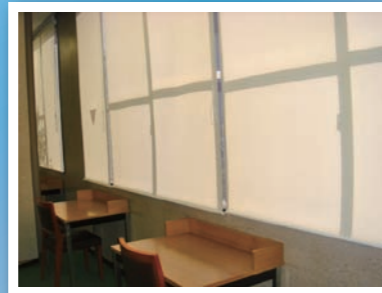
「LiSA 活動日記」を開設し、LiSAの学生と職員が自由に記事を書いています。お茶大図書館の活動の大切な記録です。学内外の方からコメントの書きこみがあつたり、読んでもらいます。とお声をかけられたり... ブログを読んでくださってありがとうございます！



胡内 奈都子

私の自慢は、
「細部まで美観にこだわった改装」です。

学生からの要望を受け、直射日光対策に遮光用ロールカーテンを設置した閲覧室です。改装には、実行のスピードとともに「美的であること」にこだわっています。



酒巻 純子

私の自慢は、「キャリアカフェ」です。

お茶大の特徴の場所でもあるキャリアカフェ。その静かな空間の中で少しでも気持ちよく利用できるよう、テーブルの整頓、観葉植物の手入れ等新鮮な空気を入れ、私の一日が始まります。
 学生の将来について考えるためのスペースでもあり、とても素敵なところなんです。ぜひ一度来館してみてください。



宮城 恭子

私の自慢は、
「誰でも使える“オープンな”書庫」です。

お茶大図書館は「全員体制」のもと、常にチーム内の情報を共有しスタッフ間で話し合いを重ねながら課題を解決しています。お茶大図書館が誇るあらゆる自慢は、そうした一人一人の向上心とチームワークが結んだ賜物です。
 同じ目標に向かうことでお互いに士気を高めあえる関係は、日頃の業務にも生かされているお茶大図書館秘密兵器の一つです。
 自分はそのスタッフの一員であることも、大きな自慢です！



武井 佐知子

私の自慢は、
「『一石二鳥作戦』で改善アイデアを次々と実施していること」です。

「大学院生用研究スペースの設置」は、大学院図書室の人員配置問題と貴重書配置問題の組合せ。「予約図書取り置きコーナーの設置」は、カウンター内お片付けと職員の業務軽減と利用者の利便性向上の組合せ。「返却日お知らせメール」は、学生、教員からの改善提案とルーティンワーク軽減の組合せ。
 このように、常に、「一石二鳥作戦」で実行しています。



酒巻 純子

私の自慢は、
「諦めるための理由ではなく、実現するための方法を見つけれられる職場」です。

ほかの係も経験してみたいと上司に相談したところ、「非常勤での前例はないけど、いいことだと思う」「今すぐには難しいけど、時期を見て実現できるかも」という返答が、異動が実現したのは半年後のこと。「けど...」で終わらない自慢の職場です。

植岡 絢子

私の自慢は、
「課題解決プロジェクト」です。

係・常勤・非常勤の区別なく、全員が「課題解決プロジェクト」に参加しています。
 例えば、「滞り難いお片付けプロジェクト」では、保存する記事の再検討や、雑誌の受入方針の決定により、未処理だった滞り難い雑誌(約40m)の一時や配架スペースの効率化を行いました。チーム全体で課題を共有し、みんなで問題解決の達成感を味わっています！

廣田 未来

LISA ちゃんの活躍「スタッフ似顔絵」

LISAの学生さんが職員さんの似顔絵を描いてくれました。職員さんの顔もわかるように、名前だけでなく顔もわかるように、と思って描いてくれました。図書館の活動の中で、自分ができること、やってみたいことを考えているのかな、と感じるうれしい出来事です。

胡内 奈都子

LISA ちゃんの活躍「図書装飾」

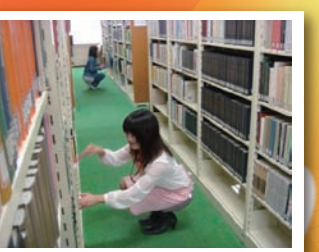
LISAちゃんに助けられていることは多々ありますが、うちの係が一番助かっているのが図書装飾。タイル入れからブックカバーまで、いまやわたしたちスタッフよりも早くきれいに装飾してくれます。新しく買った本がすぐに新着図書コーナーに並ぶので、学生サービスの向上にも繋がっています。



鍋取 直子

LISA ちゃんの活躍「書架整理」

今期から、本の埃払い、本をきれいに整理する「書架をきれいに大作戦」も始めました。32名のLISAちゃんの手を借りて、いっそう美しいお茶大図書館へと進化中！



鍋取 直子